

なすび

第41号

目次
1p~2p 特集①
2p~3p 行事報告
3p~4p 部活動
今後の予定
編集後記

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢900
TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886
メール nasu-gakuen
@pref.tochigi.lg.jp
発行日 令和4年10月31日

★特集①★

令和四年度も半年が過ぎました。

今年那須学園へやってきた先生方はどんな感想を抱かれたのでしょうか。ここまでの那須学園での生活を踏まえて「二年目の決意」をいただきました。

○松本 泰弘（育成課長）

那須学園に配属となつてあつたという間に半年が過ぎ、慣れない業務にもようやく慣れてきた気がする（？）今日この頃です。

この半年間に新たに迎え入れた児童、送り出した児童それぞれですが、彼（彼女）らの長い人生の中でこの那須学園という場所で、自分の課題に向き合い、時には躓きながらも一歩一歩成長していく姿を見守るというこの仕事に手応えを感じています。

話は変わりますが、今年の初夏に我が家の庭に取り付けた巣箱にシジュウカラが八個卵を産みました。シジュウカラは雀くらの大きさの日本全域に生息する野鳥ですが、複数の鳴き声を組み合わせて仲間と連絡を取り合っていることが近年の研究

で分かっていたようです。晴れの日も雨の日も親鳥が毎日せっせと餌を運び続ける様子を観察していたところ三週間ほどで無事巣立っていきました。巣立って数日間は“シジュウカラロス”状態でした・・・。那須学園の児童たちもいずれは学園から巣立って行きますが、いつかは自らの力で社会に羽ばたいて行ってほしいと願ってやみません。

○吉永 雅子（男子二寮）

育休から復帰して早くも半年が経過しました。毎日とにかく時間に追われ、まさに戦争のような日々で、一日一日が本当にあつたという間に過ぎていきます。四年間という長いブランクがあり、どうなることかと正直不安もありましたが、毎日が怒濤すぎて不安とか心配とか悩みとか、考えている暇がないのが今の正直な気持ちです。勤務が終わわり、ほっと一息：する暇はありません。そこから第二ラウンド、いや、第三ラウンド？の始まりです。時には第三ラウンドの終盤でダウンしてしまいが寝落ちです。大変なことは多いですが、職場では周囲の皆様の理解のおかげで様々な配慮をしていただき、

何とかここまでやれており、本当に感謝しています。まさか学園での仕事も息抜きになるとは以前の私には想像もつきませんでした。初心を忘れず、息は抜いても気は抜かず、これから子どもたちの最善の利益のために尽力したいと思います。

○染谷 正明（男子二寮）

今年度四月から那須学園で児童自立指導員として勤めさせて頂いています。本学園に勤めたいと思った機は、不幸にも地域や学校・家庭などで失敗や触法行為などを起こしてしまつた児童達が社会で自立し力強く生きていくことが出来るよう支援する一助になりたいと思つたからです。しかし、児童達の資質や家庭環境、特に大多数の児童が発達障害を持っていて等想像していたより関わり方や支援の方法に難しさを感じている毎日です。また、チーム（組織）としての支援の大切さや有り難さを強く感じている毎日です。今後は発達障害についての自己研修を深めチームの一員として、少しでも児童達のよりよい成長に繋がるよう頑張つて行きたいと思っています。

○越沼 ひより（女子寮）

五月二日。私の那須学園の初勤務日です。一ヶ月遅れての勤務は先生達の輪、女子寮の輪、子ども達の輪：那須学園の「輪」の中に私は入っていけるのだろうか、生きてきて感じたこと経験したことを生かし自分の糧にするんだ、と不安と期待がありました。

一〇月二日で半年が経ち、今では少し自分のする行動に自信が持てるようになって来ました。先生方の教えはもちろんです、日々子ども達からの反応のおかげでもあります。前職では仕事は流されてやっていた。今は「自分で考えて周りに相談が出来る、動いたことで周囲から評価を受けられる」仕事では当たり前かもしれないですが、そんな当たり前の事が毎日私にとつては「楽しい」です。

そんな私の今後は、もつと自分を表に出すことを目標にしていきます。この半年は先生かたや子ども達と関わる事で自分の感じていなかった事にたくさん気付く半年でした。今後は自分を表に出し関わって行くことで周りの人にも私のように感じて貰えるような行動をしていきます。

○葛西 広行（沢分校）

沢分校に勤務をして、半年が過ぎました。緑あふれる園内を小動物が行き交うなど豊かな自然に囲まれた

環境で勤務できることに気持ち良さを感じました。しかし、一方では、私は児童自立支援施設について知識が全く無く、不安で仕方が無かったのも事実でした。教育計画の作成や教育活動の調整についても、今までのやり方が通用せず大変な思いをしていました。しかし、那須学園や分校の職員の方々と一緒に仕事をすることを通して、この施設のことを徐々に理解できるようになりました。さらに、様々な課題を抱えた児童に對して、職員の方々が真剣に向き合い試行錯誤して向き合っている姿が頼もしく、ここで勤務する中にも新たな学びがあることをうれしく思うようになりました。

泥だらけの農場活動、雨でびしょりになった遠足、全身汗まみれの部活動、それでも声をからして児童を励ます職員に支えられ、泣きべそをかきながらがんばる児童の姿に胸を熱くしています。児童がそれぞれの課題を克服し、社会でしっかりと生活していける一助となれるようにこれからも頑張っていきたいと思いません。

★特集②★

那須学園では心理士を中心に、アンガーマネージメントの学習を行っています。今回、担当職員から取り組みについて紹介してもらいました。

那須学園では平成二九年度から入所児童を対象にアンガーマネジメントプログラムを実施しています。

今年度も毎週木曜日の六校時目に分校の先生のご協力の下、計一〇回のプログラムを実施中です。集団に対して授業形式で行っていますが、子ども達が興味をもって主体的に学べるようにグループワークやロールプレイなどを多く盛り込んだプログラムとなっております。少し難しい内容もありますが、楽しみにしてくれている児童もいるようです。アンガーマネジメントプログラムを実施していると思うことは、本当は色々な気持ちを抱えていながらも表現の方法が「怒り」しかない子が多くいるということだと思います。そのため、怒りを我慢するだけでなく、本当はどんな気持ちでどうしたかったのか？を整理し、適切な表現ができるようになることが重要であると感ずります。授業では良い発言やロールプレイができて生活となると上手に活かせないこともしばしばであり、一朝一夕で身に付くものではないと痛感させられる日々ですが、少しでも子供達の成長の一助になればとの思いで今後も諦めずに取り組んで行きたいと思えます。

☆ジャガイモ収穫

六月二四日

六月二四日に行われたジャガイモ収穫は、天候もよく、絶好のコンディションの中で実施することができました。

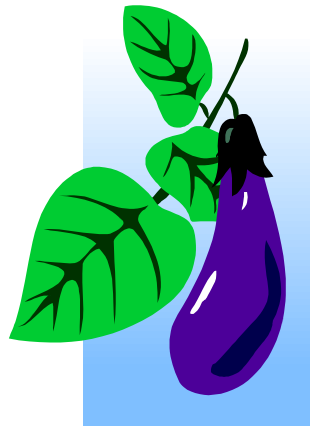
事前に中卒生に茎を切ってもらったおかげで、そのあとの作業がスムーズに行うことができました。ジャガイモは、同じ土地（場所）に植えない方が良いということで、今年度は、別の場所に植えた結果、昨年度以上のジャガイモを時間いっぱい使い切り収穫することができ、児童生徒も表情を豊かに、楽しそうにジャガイモ仕分けをし、大地の恵みに感謝することができました。今後、収穫されたジャガイモがどのように調理され、献立に並ぶか楽しみです。

☆流しそうめん会

七月一五日

今年も夏の恒例行事、流しそうめん会を実施しました。昨年度までは新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、各寮単位での実施としていましたが、今年度は十分な感染対策を取り、学園全体で実施しました。久しぶりの全体でのそうめん会ということもあり、中卒生と担当職員で張り切って、竹林から一番太く、大きな竹を切り出してきました。意気込みまでは順調だったのですが、あまりの太さに悪戦苦闘。完成までに予想以上に時間がかかってしまいましたが、とても立派な流しそうめんマシーンが完成しました。そうめん会当日は夢中になって楽しむ子ども達の姿が見られました。そうめんだけでなく合間におもちややグミが流れてきて、子ども達は大喜び！笑顔の絶えない時間となりました。





☆海浜宿泊学習

七月一九～二〇日

七月一九日から二十日にかけて、海浜宿泊学習が行われました。天候が心配されましたが、全行程を予定通り実施することが出来ました。一日目は宿泊場所のとちぎ海浜自然の家で、海浜スコアオリエンテーリングを行いました。海風を感じながら、仲間と協力しながら活動することが出来ました。また、花火やバイキング形式の食事など、普段出来ない活動に児童達も満足した様子でした。二日目は筑波宇宙センター見学を行いました。例年であれば大洗水族館の見学でしたが、昨年度も参加した児童が半数以上いたため、新たな場所となりました。展示館「スペースドーム」では、実物大の人工衛星や本物のロケットエンジン、「きぼう」日本実験棟の実物大モデルを間近で見ることができました。

二日間の活動を通して、公共の場での過ごし方や集団行動をする上で、の時間や決まりを守ることの大切さ、自然とふれあう楽しさを学ぶことが出来ました。



☆学園祭

九月二二日

九月二二日（金）、学園祭を開催しました。今年は三年ぶりの外部招待者を招いての実施となりました。しかしながら、前日準備の際には雨がちらつき当日の天気が心配されました。迎えた当日、暑いほどの晴天に恵まれ、招待者や子ども達のたくさん笑顔を見ることができました。

今年はラーメン、たこ焼き、パンケーキ、ドリンク、ゲームコーナーの模擬店を出店し、子ども達、職員が招待者を丁寧におもてなしました。一〇〇名ほどの地域の方、前籍校や児相の方々等をお迎えし、緊張した面持ちで接待しながらも、嬉しさを隠しきれない子ども達の表情が印象的でした。また、準備の段階から片付けまで意欲的に取り組む様

子から成長の一端を感じられる日となりました。
参加いただいた方々のご協力に感謝いたします。

☆生き物調査

九月五日

九月五日、学園内に流れる小川に生息する生き物の調査をしました。この行事は地域との交流行事でもあり沢地区環境保全会の皆様や矢板市更正保護女性会の皆様と一緒に活動をしました。学園の小川には様々な生き物が生息し、獲っては地域の人たちに「これはなんて魚ですか？」と聞いたりしていました。次々に捕獲できる子がいる一方、なかなか獲れない子は地域の人達からアドバイスを受けていました。そして今年はないと鮎が二六匹も獲れて学園の自然の豊かさを証明するものでありました。子どもたちも地域の方々も大喜びです。また昔ながらの竹籠かごを設置し、獲れた魚の数を予想して当てるというクイズ大会を行い、結果として九六匹の魚を捕獲することが出来ました。心地よい金木犀の香りを感じ、小川にみんなど入り、綺麗な魚を見たり不気味な生き物に触れたりしました。最後には地域の皆様から頂いたジュースをみんなで飲み、その味は格別なもので子どもたちの五感を刺激する活動であったと思います。そして何よりも地域の皆様との交流が子どもたちの心をくすぐっ

ていたように思います。また更正保護女性会の皆様からお菓子を頂き御礼申し上げます。



☆部活動☆

☆野球部

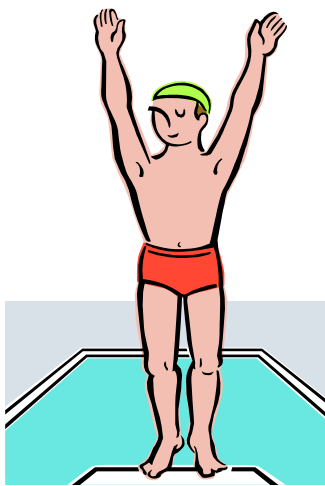
二月から始めた野球部もついに最終目標である関東少年野球大会に出場してきました。初心者が多い中、ここまで必死に練習を続け、何とかチームができるレベルまで成長してきました。まだまだ課題が多く、一つアウトを取る度に大喜びでガッツポーズをするレベルですが、子ども達は仲間と協力して試合を進めることができるようになりました。

一回戦では最後まで接戦となる展開でしたが、最後まで諦めることなく試合を進め、見事勝利し、準決勝まで駒を進めました。準決勝では完全に力負けしましたが、試合を終えた子ども達は堂々としていました。

きつとここまで頑張ってきたことに自信があつたからだと思ひます。七月で野球部は終了となりましたが、野球部を通して学んだ事を今後の人生に少しでも活かしてくれたらと願っています。

☆男子水泳部

関東少年野球大会が終わり、男子水泳部が始まりました。今年度は「自分に負けない」「記録への挑戦」「仲間を応援する」の三つの目標を掲げて部活に取り組みました。始まった当初は自分に自信が持てずに、ネガティブ発言や、消極的な泳ぎがありました。部員同士で励まし、最後まで泳ぎ切る経験を積み重ねました。大会では三つの目標を達成でき、数名が三位以内入賞。毎日一生懸命泳いできて、大会でもしつかりと泳ぎ切った子供達の笑顔は輝いています。この夏頑張った経験を今後の生活でも生かしてくれたらと思ひます。



☆女子水泳部

新型コロナウイルスの影響で二年間開催することが出来なかった関東少年水泳大会でしたが、今年度は開催する運びとなり、八月二五日、東京都武蔵野の森総合スポーツプラザにて開催された水泳大会に男女水泳部で参加することができました。『那須学園Ⅱ夏学園』と揶揄される夏の名物…。子ども達は午前には作業、午後は水泳という毎日が繰り返される日々。夏の暑い太陽にも負けない、子ども達にとっても暑い夏の訪れでした。六月にプール開きをしてから女子水泳部が発足して活動を始めました。

昨年度の経験者がほほいない状況での始動となったこともあり、まずは水に潜る練習から始まりました。徐々に水に慣れていき、泳法練習が始まった頃には、練習の厳しさに弱音を吐き、その都度先生方に支えられる日々が経過していきました。大会当日は、子ども達は皆、緊張しながらもこの夏に練習してきた成果を充分に発揮することが出来ました。たくさんの方々への協力や応援をもらい、最後まで全力で泳ぎ切ることができた子ども達は、最高の笑顔を見せてくれました。そして、夏の日課を乗り切り、子ども達にとつて一回りも二回りも成長できた暑い夏になりました。

☆卓球部

今年も卓球部の活動が始まりました。例年、昨年度の卓球部の経験者が残っていて、その子達を中心に活動していくのですが、今年は経験者がたったの一名です。残る六名は全く経験のない素人という状態からのスタートとなりました。それでも初心者だからこそ上達するスピードには目を見張るものがあります。大会までは三ヶ月という限られた短い時間しかありませんが、最後まで諦めないチーム作りをしていきたいと思ひます。

☆番外編☆

今後の予定

- 一月 一八日 収穫感謝祭
- 一月 二五日 関東少年文化祭
- 一二月 クリスマス会
(日程調整中)
- 一月 一〇日 新年昼食会
席書大会

一月 一二日 第一回 スキー教室

二〇日 第二回 スキー教室

二月 三日 立志式

二月 一〇日 園内 マラソン大会

編集後記

暑かった夏も終わり、一月に入ると一気に秋めいた気候になってきました。夏の日課を乗り越えた子ども達は一回りも二回りも逞しく見えます。退園して那須学園から羽ばたいていく日を目指し、これからも成長していくことを期待しています。

昨年度までは新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、各種行事が中止となりましたが、今年度は感染予防を徹底した上で、可能な限り実施しています。まだまだ新型コロナウイルス終息の目処が立たない状況ですが、皆様もお身体を大事にして過ごして下さい。

育成課

小鍋・吉永・福田